

建設通信新聞

発行所 日刊建設通信新聞社
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-13-7
電話(03)3259-8711
FAX(03)3259-8730
©日刊建設通信新聞社 2017

安全性に効果発揮 クイック橋梁塗替えで使用 日綜産業

群馬県東吾妻町岩下地下内で進んでいる「大國橋塗装塗り替え工事」(施工日大美塗装、旭コーポレーション)で、日綜産業のクイックデッキをベースにクイックラップ(熱収縮・密着型防水性養生シート)を組み合わせた「サンライトステーション」が使われ、安全性と作業効率の向上に効果を発揮している。21日に発注者である群馬県中之条土木事務所や、近隣の土木事務所の職員の参加のもと、現場見学会が開かれた。写真。

工事現場では、クイックデッキを採用するとともに、有害物質を封じ込めるために、側面防護に国内2例目となるクイックラップを取り入れ



た。
クイックラップは、ポリエチレン製のフィルムで、厚さ0.3mm。セ氏約150度で

接着・収縮硬化する。従来の板張防護に比べ、優れた採光性により、足場内部を明るくし、作業従事者は快適な作業環境で作業することができるとして現場で発生した廃棄物とともに処分できる。安全性の確保のため、施工者側が取り入れた。

作業従事者によると「採光が取れるので、照明の行き届かないところにも光が当たり、作業がしやすく、歩きやすい」と話している。

橋梁塗り替えに採用

日綜産業の加熱溶着
防水性養生シート

日綜産業の防水性養生シート「クイックラップ」が群馬県東吾妻町で施工中の大国橋塗装塗り替え工事（施工・大美塗装、旭コーポレーション）で採用された。同商品は専用のガスバーナーで加熱することで溶着可能なため、従来の板張り防護に比べ施工性や採光性に優れているという。国内での採用は2例目で、今後積極的にPRし同様の工事での採用を目指す考えだ。

クイックラップは、今月から同社が販売を開始。セ氏150度以上で加熱すると収縮が始まり、シート同士を溶着することができると。ポリエチレン製で、使用後は廃プラスチックとして処分可能。仮に部分的に破れたとしても修復用テープで簡単に直せる。米国で開発された商品で、ゴールデンゲートブリッジの塗り替え工事で採用された実績がある。

橋梁の塗り替え工事ではこれまで、ベニヤ板などを張って有害物質の飛散を防いでいたが、作業空間に日中でも光が差し込まないな

ガスバーナーで簡単に溶着できる



ど作業性に問題があった。21日に開かれた現場見学会には、発注者の群馬県中之条土木事務所などから約50人が参加。クイックラップの特長に加え、塗り替え工事のため設置された先行床施工式フロア型システムのつり足場「クイックデッキ」の安全性などを確認した。クイックラップの設置を担当する大美塗装の作業員からは「板張り防護の時よりも作業しやすく、安全性も高い」と好評だった。

—わが国唯一の橋の専門新聞—

橋梁新聞

SINCE1973

発行所
橋梁新聞社
 郵便振替口座 00150-2-48179
 東京都千代田区神田駿河台3-3
 五明館ビル302
 〒101-0062 電話03(5577)7610(代表)
 FAX03(5577)7611

第1314号
 2017年 5月1日
 (平成29年) 月曜日
 昭和51年5月19日第三種郵便物認可
 購読料/年間88,000円・半年46,000円(税別)
 発行日 1・11・21日
 発行兼編集人 澤田繁男
 編集長 根津寿子

www.kyoryoshimbun.co.jp



クイックラップを設置中の大国橋

群馬県 大国橋塗替え

クイックデッキ・ラップ

日綜産業は4月21日、道145号大国橋で、先
 群馬県中之条土木事務所 行床施工式フロア型シス
 が塗装塗替えを進める国 テム吊足場クイックデッ
 場見学会を催し、県職員
 など約50人が参加した。

同橋は橋長55mの2径
 間連続鉄桁橋。塗替え塗
 装は約753平方m。Rc
 ー1で塗膜剥離に水系剥
 離剤パントレ。元請は大
 美塗装。足場工事などは
 旭コーポレーション。ク
 イックデッキは280・
 8平方m使用。
 従来の板張りに代えて
 熱収縮・密着型防水性養
 生シート「クイックラッ
 プ」で側面防護する。厚
 さ0・3mmのポリエチレ
 ンフィルムの難燃性の乳
 白色のシート。使用後は
 廃プラスチックとして処
 理可能。専用ヒートガン
 で、溶着・収縮させて張
 りと強度のある仕上がり
 となる。壁面を一枚のシ
 ートとして足場内部の有
 害物質の外部拡散を防止
 できる。また外の明かり
 を透過し、足場内部を明
 らくできる。
 大美塗装営業部・工事
 部の高橋昭夫統括部長は
 「段差のない広い空間
 で、安全安心かつ作業性
 の良い現場を実現でき
 る。人の命はお金で買え
 るものではないが、安全
 にはお金をかけることが
 できる」と話す。



発行所
日本工業経済新聞社
前橋支局

群馬県前橋市問屋町1-1-1
電話 027(210)8200
FAX 027(210)8500

本社 東京都文京区千駄木3-36-11
電話 03(3822)9211
URL: <http://www.nikoukei.co.jp/>

©日本工業経済新聞社

大国橋塗装工で活躍

日綜産業

クイック
ラップ 効率向上を図る

群馬県東吾妻町で行われている大国橋塗装塗り替え工事で、国内では2例目となる熱収縮・密着



遮光性が確保されている



中央部が張っている状態

生ずる有害物質の拡散を
型防水性養生シート「ク
イックラップ」が採用さ
れている。塗装などで発
生する有害物質の拡散を
フィルムシートで厚さ

防ぎつつ遮光性を確保で
きるなど、作業効率の向
上につながっている。

0・3mm。足場などの鉄
骨部分に同シートを巻き
つけて装着、専用のヒー
トガンによりシートを加
熱することで、加熱部分
が収縮・溶着し一枚の壁
面を作り出す。

一般的に散布防止など
に使用される板版は、暗
く閉鎖的な作業空間とな
ってしまいがちだが、ク
イックラップは採光性に
優れていることから、

明るく安全な作業環境を
確保することができる。
その上、シート状なので、
カッターなどで簡単に切
断することができ、さま
ざまな形状に対応。
また、使用後は他の廃

棄物を包み廃プラスチック
として処分することが
できる。さらに、同社が
取り扱っている「クイッ
クデッキ」と組み合わせ
ることにより、段差の少
ない非常に安全な作業場
所を確保できる。

今回の現場は山間部を
走る国道に架かる橋で、
明かりの確保も困難な状
態。また、橋下には河川
も流れており、汚染物の
散布防止など自然環境の
安全が求められていた。

また、使用後は他の廃

棄物を包み廃プラスチック
として処分することが
できる。さらに、同社が
取り扱っている「クイッ
クデッキ」と組み合わせ
ることにより、段差の少
ない非常に安全な作業場
所を確保できる。

今回の現場は山間部を
走る国道に架かる橋で、
明かりの確保も困難な状
態。また、橋下には河川
も流れており、汚染物の
散布防止など自然環境の
安全が求められていた。

日刊建設タイムズ

日綜産業

大国橋塗装塗替工事で活躍

クイックラップを採用

群馬県東吾妻町で行われている大国橋塗装塗り替え工事で、国内では2例目となる熱収縮・密着型防水性養生シート「クイックラップ」が採用されている。塗装などで発生する有害物質の拡散を防ぎつつ遮光性を確保できるなど、作業効率の向上につながっている。

日綜産業（小野大社長、東京都中央区）が販売しているクイックラップは、ポリエチレン製のフィルムシートで厚さ0.3mm。足場などの鉄骨部分に同シートを巻きつけて装着、専用のヒートガンによりシートを加熱することで、加熱部分が収縮・溶着し1枚の壁面を作り出す。

一般的に散布防止などに使用される板版は、暗く閉鎖的な作業空間となってしまうが、クイックラップは採光性に優れていることから、明るく安全な作業環境を確保することができる。その上、シート状なので、カッターなどで簡易に切断することができ、さまざまな形状に対応。

また、使用後は他の廃棄物を包み廃プラスチックとして処分することができる。さらに、同社が取り扱っている「クイックデッキ」と組み合わせることで、段差の少ない非常に安全な作業場所を確保できる。今回の現場は山間部を走る国道に架かる橋で、明かりの確保も困難な状態。また、橋下には河川も流れており、汚染物の散布防止な

ど自然環境の安全が求められる。施工を担当している大美塗装（堀越泰光社長、群馬県前橋市）は「クイックラップで従来の板版より遮光性を確保できた。また、併せてクイックデッキを使用したことで、より快適な作業環境を実現できた。何よりも優先することは安全であり、そういった部分でも今回は同製品を採用させていただいた」と評価している。



遮光性が確保されている

中央部が張っている状態